

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	浜益川サケ有効利用調査事務	3-12
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1 2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	浜益支所産業振興課	直通電話	79-2177
担当部長	工藤 泰雄	担当課長	渡邊 隆之
		担当者	寺山 和孝

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	浜益川において8月31日から10月17日までの毎週木曜日と9月16日を除く(期間中、1,600名の採捕従事者(参加者)によるシロサケの釣獲調査を実施するため、許可申請や募集事務、調査期間中の遡上数や魚体調査等の事務を行う。		
(2)事業開始年度	平成10年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	3 元気で活力あるまち	
	施策項目(大)	(2)水産業の振興	
	施策項目(小)	その他	
	施策コード	30204	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	浜益川に遡上するサケの有効利用を図ると共に河川及びその周辺の環境保全を進め、更には密漁防止を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	当該河川における釣獲調査の実施により密猟を防止し、サケ遡上数と魚体調査を行い、漁業資源の保全保護と調査研究並びに小中学生を対象とした自然とのふれあい講座を実施し、河川環境に対する意識の醸成を図る。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	浜益川サケ有効利用調査実行委員会を組織し、事業計画策定による北海道の申請許可後、釣獲調査事業の運営全般(募集・受付・監視業務、調査実績資料の整理)を石狩市観光協会に委託して実施する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	全道的な保護河川の集約化に伴い、浜益川でのサケの捕獲事業は平成7年度以降廃止され遡上する2万尾を越すサケが増殖の用に供されなくなったことを受け、平成10年度から浜益川サケ有効利用調査実行委員会を設立し、当該事業を開始した。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	0	0	0	0
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	3,453	3,314	3,588	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	3,453	3,314	3,588	
事務に従事した正職員延べ人数	0.40	0.40	0.40	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
	市補助金等(A)	0	0	0		0	賃金	4,655		
施設利用料	8,066	9,023	7,710	7,675	支 需用費	716	74	317	140	
繰越金	550	424	474	200	出 役務費	327	0	267	265	
雑入	1	1	19	3	環境学習費	66	3	55	50	
					負担金	350	350	350	350	
計(B)	8,617	9,448	8,203	7,878	委託費	2,079	8,547	7,014	7,035	
(A/B)	0.0	0.0	0.0	0.0	計	8,193	8,974	8,003	7,840	

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
釣獲調査参加人数(人)	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績値	1,643	1,815	1,600	
	達成率	54.8	60.5	53.3	
釣獲尾数(尾)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	7,026	5,621	4,511	
	達成率	-	-	-	
ふれあい講座開催数(回)	目標値	1	2	2	1
	実績値	1	2	2	
	達成率	100.0	100.0	100.0	

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
サケ密漁による検挙者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	0	0	0	
	達成率	-	-	-	
ふれあい講座参加者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	12	33	27	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	事業の成果と施策の成果とに関連があるか
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			イ 成果
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	事業の成果は目標を達成しているか
コスト削減は可能か			1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
(3) 公平性			ウ 事業内容
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か
さらなる受益者負担は可能か			
(1)～(4)の評価ポイント合計			
総合評価の参考にしてください。			
7～11 A or B			
12～15 B or C			
16～21 D or E			
14			

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		当該河川敷地内草刈の実施により河川環境の保全が図られるとともに、児童生徒の環境学習や釣獲調査者の環境保全等に対する意識が醸成され、また本事業の実施により密漁防止や漁業資源の保全保護が図られているものの、利用者が減少していることから可も不可もない。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		参加者が減少傾向にあり、運営に係る財源の確保が危惧されるため、利用期間等の検討を行い参加者増を図っていく。河川環境保全とサケ資源有効活用のため、今後も引き続き本事業を実施する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		*
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
期間券(期間中(9/5～10/15)の木曜を除く金曜から水曜まで)として、A日程(金曜日から始まる奇数週)とB日程(偶数週)による隔週で行っているが、21年度から共通券の発行を行う予定である。			

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		課長意見を承認する。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		浜益川がサケの採取・放流事業河川から放流事業河川になったことに起因し、サケの密漁が増加したことで、釣獲調査の名目で期間を定めた許可を得たサケ釣となってきている。水産業振興事業から、サケ釣観光事業に転換すべきと考える。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
共通券を発行し、参加者の拡大を図り、浜益区への観光客の入り込み客数の増加に努める。			